

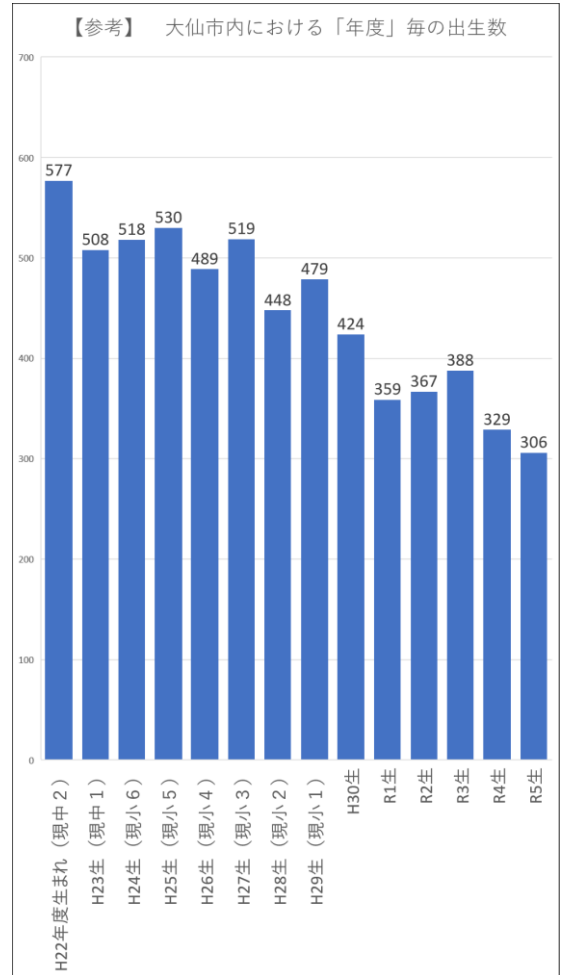


部活動地域移行について

現在、学校部活動を取り巻く課題として主に次のことが挙げられています。

- 深刻な少子化により、部活動は持続可能性という面で厳しさが増している
 - ・ 国全体で、昭和61年に589万人であった中学校生徒数が、令和3年には296万人
 - ・ 単独で団体種目に出場できない学校（部活動）の増加
- 部活動指導が、教師にとって大きな業務負担になっている
 - ・ 競技や活動を未経験であっても学校事情によって顧問となる
 - 生徒にとっても専門的な指導を受けられないというデメリット
 - ・ 1日あたりの部活動指導時間の増加
 - 平成18年に平均0.34時間であった平日の指導時間が平成28年には平均0.41時間
 - 平成18年に平均1.06時間であった休日の指導時間が平成28年には平均2.10時間

⇒ こういった課題を受け、スポーツ庁・文化庁は令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、学校部活動の地域連携・地域移行に向けた環境整備（R5～7の3年間を改革推進期間）について提言。



大仙市が目指すもの

大仙市では次の2つを目指す姿として、まずは休日から、部活動の地域移行を進めています。

- 少子化の中でも子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保
 - 子どもたちは、自発的な参画の中で「楽しさ」「喜び」を感じ、それが自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創りにつながる
- 学校の働き方改革の推進
 - 教員は十分な準備の時間を創出することができ、学校教育の質の向上につながる

大仙市内の中学校で休日も活動している部活動は、運動部58、文化部13の計71部活動です。このうち、地域クラブ活動へ移行しているものが10（運動10、文化0）部活動、部活動指導員を配置しているものが12（運動9、文化3）部活動あります。次回以降の部活動地域移行だよりでは、地域クラブ活動や部活動指導員による指導の様子についてお知らせしていきます。

【お問い合わせ先】 大仙市教育委員会事務局 教育指導課

住所：大仙市大曲上栄町2-16 電話：0187-63-1111